



平和行進

政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めよう

1958年に始まった平和行進は、今年も5月6日に東京・夢の島を出発して8月4日・広島まで歩きます。今年1月22日に発効した「核兵器禁止条約」の礎は、長きにわたる被爆者の核廃絶の願いと平和行進などの国民的な運動が築き上げました。

5月7日には、東京から神奈川へ行進が引き継がれました。コロナ禍のなかで従来のリレー方式は困難になっていますが、静岡に引き継ぐ19日まで神奈川県内全自治体・行政区64箇所様々工夫がされて「行進」が行われます。神奈川の特徴は「ピースリレー実行委員会(生協など)」「原爆被災者の会」と「国民平和行進実行委員会(原水協など)」の三団体が「行進懇談会」を作り固く結びあって行進を行っていることです。



「核のない平和な世界」を目指して、各地の行進に「一歩でも歩き」、日本政府に禁止条約の署名・批准を求める署名を進めましょう。

「核のない平和な世界」を目指して、各地の行進に「一歩でも歩き」、日本政府に禁止条約の署名・批准を求める署名を進めましょう。

5月3日憲法の集い

政権暴走と国民支配の根底はアベ政治にある

今年5月3日(憲法記念日)は日本国憲法施行から74年目となります。憲法記念日には各地で「憲法の集い」が開かれています。自民党など改憲勢力は、「憲法を変える」と毎年表明しています。しかし、改憲反対の世論が改憲を阻止しています。

「アベ改憲」を引き継いだ菅政権は、改憲推進派の「憲法の集い」で、災害やコロナ禍の対応から「緊急事態条項の新設」を強調しました。憲法の生存権を脅かす状況を放置しながら、都合よく改憲へ進もうとしています。国会においても、「国民投票法(改憲手続法)改正案」が衆議院憲法審査会で可決、自民党などは今通常国会での成立を狙っています。神奈川憲法会議は5月3日、神戸学院大学法学部教授の上脇博之さんを講師に「安倍・菅政権の闇／腐食の構造を暴く」を開催しました。安倍政権を振り返ることが菅政権の本質を知ることとなり、「情報隠し」「官邸主導政治」は政権の暴走そのものと述べています。

